

鳴海ヶ丘新聞

第3号

2017年3月



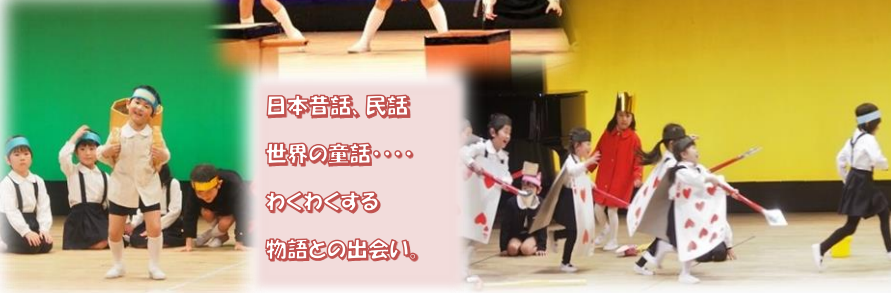
劇あそび発表会

二月二十四日(金)、豊明市文化会館にて開催。まるで絵本のページをめくるように、一場面一場面、物語が展開していききました。お話の世界であそび、役になりきって演じる子どもたち。どのクラスもみんな力で力を合わせて、心に残る劇を作りました。



友だちとの絆の
深まり……。

表現することの楽しさ……。



日本語、民話
世界の童話……
わくわくする
物語との出会い。



修了記念植樹式

今年の記念樹は『沈丁花(じんちようげ)』。

赤紫色の花が咲くものと白色の花が咲くものの二本の苗木を植えました。場所は、北棟前花壇。青組さんと若草会役員のお母様方が、シャベルで土をひとすくいずつ苗木の根元にかきました。十年後、二十年後、二本の沈丁花は、きつと根を張り、枝葉を茂らせ、いい香りの花を沢山咲かせていることでしょう！青組の皆さんが大人になっても、時折幼稚園のことを思い出し、この記念樹を見に来てくれたら嬉しいですよ。



沈丁花は、二月末から三月に甘い香りのかわいい花を咲かせます。まさに春の訪れを知らせる花木。花言葉は『栄光』。巣立っていく青組さんにふさわしい縁起のいい木です。



青組さんのお別れ会

先生方の劇を見たり、歌を歌って青組さんとの思い出を振り返りました。また、黄組さん赤組さん一人一人が心を込めて作ったプレゼントを渡すと、「わあ、すごい」と、驚きと嬉しさいっぱい笑顔を見せてくれた青組さん。是非、お家のお部屋に飾ってくださいね！

カードフレーム……
黄組さんが作りました。
色画用紙にクレパスで
思い思いの模様を
描きました。

メッセージ……
先生方が1枚1枚心を
込めて書きました。



カードスタンド……
赤組さんが作りました。
トイレットペーパーの
芯にカラー紙粘土を
はりつけて、かわいい
動物のお顔のスタンド
になりました。

出会いの大切さ

人は、毎日いろいろな場面で、いろいろな人や物に出会い、興味を持ち、かかわり、気づいて、ときに好きなことや進路にまで発展していきます。日本で将来有望視されている虫博士がいます。一人は幼少期を自然豊かなふるさとで過ごし、虫と出会って博士になりました。ところが、もう一人は東京の新宿という都心に生まれ育ち、自然環境が豊かではありませんでした。彼は虫とあそんだのではなく、親から買ってもらった虫図鑑にのめりこみ、ボロボロになるまで本をみて虫にのめりこんだといいます。本との出会いは貴重です。将来虫博士を生んでいくのです。幼児期の親子の体験が、お子様にどんな感動を与えるのか、それが直接体験だけでなく、絵本や図鑑、映像や映画など、様々な出会いの中で将来の進路の入口までみつけれれば、すばらしいことだと思えます。一年の親子の出会いを大切に、新しい春に、新しい出会いを期待して、今年度の皆様のご協力に感謝申し上げます。

園長 岡田 勝彦